

インフルエンザ様疾患患者の発生に伴う臨時休業措置及び社会福祉施設等における集団発生状況について（第２報）

インフルエンザ様疾患患者の発生に伴う学級閉鎖等の臨時休業措置及び社会福祉施設等における集団発生について、下記のとおり報告がありましたのでお知らせします。

記

1 報告受理期間

平成23年4月10日（日）～4月16日（土）

2 臨時休業措置状況（平成22年9月8日～平成23年4月16日までの累計数）

施設区分	措置数(延べ)		患者数		措置内容					
					休校・閉鎖		学年閉鎖		学級閉鎖	
	発生数	累計	発生数	累計	発生数	累計	発生数	累計	発生数	累計
保育所	0	44	0	170	0	2	0	15	0	27
幼稚園	2	106	12	896	0	11	0	26	2	69
小学校	6	548	58	4859	0	0	2	199	4	349
中学校	0	41	0	501	0	0	0	8	0	33
高等学校	0	19	0	151	0	0	0	0	0	19
その他	0	13	0	54	0	1	0	5	0	7
計	8	771	70	6631	0	14	2	253	6	504
(前週報告数)	(18)	(763)	(166)	(6561)	(0)	(14)	(5)	(251)	(13)	(498)

※本県教育委員会が定めるインフルエンザ様疾患発生時の学級閉鎖の基準は、学級等の欠席率が20%に達した場合に、学校医と相談し措置を講ずることになっています。

3 社会福祉施設等における集団発生状況

(平成22年11月29日～平成23年4月16日の累計数)

施設区分	措置数(延べ)		患者数	
	発生数	累計	発生数	累計
介護老人福祉関係施設	0	6	0	92
児童関係施設	2	51	25	819
障害関係施設	0	2	0	26
その他	0	0	0	0
計	2	59	25	937
(前週報告数)	(7)	(57)	(98)	(912)

※社会福祉施設内において、最初のインフルエンザ様症状の患者発生後、その者を含め10名以上の患者が集団発生した場合に、所管保健所に報告することになっています。

学年閉鎖

NO	自治体	学校名	学年	措置期間	在籍数	患者数
1	桜川市	羽黒小学校	2年	2011-4-12~2011-4-16	37	13
2	常総市	豊田小学校	1年	2011-4-13~2011-4-17	24	12

学級閉鎖

NO	自治体	学校名	学年組	措置期間	在籍数	患者数
1	笠間市	宍戸小学校	3年2組	2011-4-13~2011-4-15	31	9
2	小美玉市	小川小学校	4年2組	2011-4-14~2011-4-18	34	9
3	鹿嶋市	波野小学校	2年2組	2011-4-13~2011-4-15	24	5
4	取手市	藤代小学校	2年1組	2011-4-16~2011-4-19	26	10
5	稲敷市	江戸崎幼稚園	4歳児もも組	2011-4-12~2011-4-15	25	7
6	稲敷市	江戸崎幼稚園	5歳児そら組	2011-4-14~2011-4-18	24	5

社会福祉施設等における集団発生

NO	所在地	施設名	施設種別	在籍者数	患者数
1	常陸大宮市	御前山保育園	保育所	81	10
2	行方市	麻生保育園	保育所	74	15

「流行」には、のらないで — 予防大切 インフルエンザ —

毎年、冬から春はインフルエンザシーズンです。

そんな「流行」にはのらないよう、自分でできる予防を忘れずに。

まずはいつもの手洗い、マスク、咳エチケットから。

◇ インフルエンザにかからない、うつさないための対策

★帰宅時の手洗い、うがい

・ 咽頭粘膜や手指など身体に付着したインフルエンザウイルスを取り除くために、有効な方法です。

★咳エチケット (咳やくしゃみをする時、ウイルスが2m~3m飛ぶと言われています。)

- ・ 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ・ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ・ 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努めます。

★インフルエンザの予防接種を受けましょう。

インフルエンザワクチンは、罹患した場合の重症防止に有効といわれていますので、予防接種を受けましょう。

★適度な湿度の保持

空気が乾燥するとどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなりますので、外出時にはマスクをしたり、室内では加湿器などを使って適度な湿度(50~60%)を保ちましょう。

★十分な休養と栄養摂取

・ からだの抵抗力を高めるために十分な休養と栄養を日ごろから心がけましょう。

★人混みや繁華街への外出を控えること、外出時のマスク着用

・ インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や慢性疾患を持っている人、疲労気味、睡眠不足の人は、人混みや繁華街への外出を控えること、外出時にはマスクを着用することも効果があります。

◇ インフルエンザにかかった場合の対応

- ・ 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- ・ 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・ 水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- ・ 一般的に、インフルエンザを発症してから3~7日間はウイルスを排出すると言われていますので、その間は外出を控えましょう。
- ・ 咳などの症状がある場合は、周りの方へうつさないために、咳やくしゃみをする際にはティッシュで口元を覆う、あるいはマスクを着用しましょう。

